

歴史民俗資料館で開催されている太田さんの「日本の祭り展」

### 歴史民俗資料館で 太田さんが祭り展

「宮市尾西歴史民俗資料館で十八日まで、同市北今の太田文彦さんの「日本の祭り展」が開かれている。太田さんは、油絵具を使って独特な繊細なタッチで板に絵を描いてい

る。これまで日本の祭りはライフワークのように取り組んでおり、今回も津島の「天王祭」、弘前の「ねぶた」、能登の「虫祭り」、相馬の「馬追い」、石崎「奉燈祭り」、宇出津の「あはれ祭り」、京都の「祇園祭」、刈谷の「方灯祭り」など出品。くつきりとしたラインに鮮やかな色使いで、どの作品からも祭りの賑やかさや伝統、躍動感があふれ、観覧者の目を大いに楽しませている。



▼徒然  
草に「家のつくりよは夏をむねとすべし。冬はいかなるところにもすまわ。暑きころ、わるき住居は堪えがたきことなり」とある。随想文学の祖といわれる兼行法師も日本の夏のしきのきにはよほど参っていたとみえる。たしかに日本の住居はナツにしのぎやすいことを第一として造られてきた。夏がくると、ふすまや戸障子をはずして風通しをする。一陣の風に揺るすだれや風鈴のイ草のかおりただ花ごさの感触にも涼さを求めた。それらは機能本位。暑さはエアコンで、涼を、と消夏法も即座になつてしまった。だが建て込んで、い郊外の友人の家、エアコンはいちおと敷や芯接合に取りつてあるが、ふだんは然クーラーがある。結構涼しいとよ。う。家の中を吹き抜いていく風の通り道

# 人材や特許など知的資産を活用 自社の強みの活かし方セミナー

## いちい信用金庫本店会議室で二十一日

いちい信用金庫は、二十一日に宮市若竹の本店四階大会議室でセミナーを開催する。地域密着型金融機関を旨とし、中小企業経営者を対象に定期的にセミナーを開催しており、今回は愛知県中小企業団体中央会コーディネーターの佐原啓泰さんを講師に、「社長の会社もきつとある！自社の強みの活かし方！知的資産経営セミナー」のテーマで講演してもらう。

知名度や資本金の大小だけでなく、今まで見えていなかった人材、技術、特許、ブランド、経営理念など自社の強み（知的資産）が明確になれば、社員一人ひとりが自分の会

社に誇りを持つことができる。佐原氏は、この自社の強み（知的資産）を営業活動に活かす経営を「知的資産経営」と呼び、「知的資産経営報告書」として作成することにより、取引先や顧客に伝える手法を説明する。当日の

時間は午後一時半から三時半で、定員は五十人。参加申し込みは、同金庫各営業店へ。締め切りは十五日。

二日。締め切りは八月

# エコにも登りも体験

## 一宮青年会議所が夏フェスタを開催

一宮青年会議所（土川正夫理事長）は、八月七日に公開例会として138タワーパークで「夏フェスタ2010」を開催する。回会議所では、今年度は「

思いやる心」を重点に事業展開している。今回の公開例会は、「OMOIYARIって何だろう！」「高齢者・障害者疑似体験」「新聞紙でエコバッグを作ろう！」「ツリークライミング（木登

り）をしよう！」「エコ風船飛ばし」を予定している。当日の時間は午後三時から五時で参加費は二千円、定員は六十人となっている。参加の申し込みや問い合わせは、同会議所（電話）二四一一二



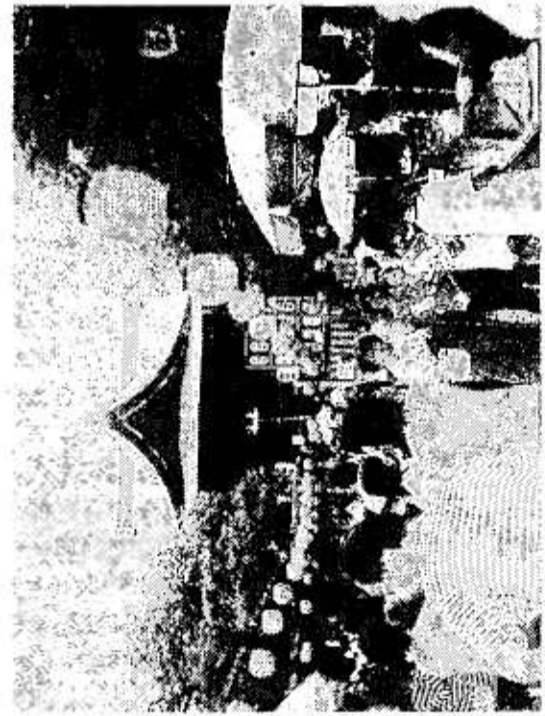
【日刊】  
株式会社  
一宮タイムズ社  
宮市大宮3-8-10  
TEL(0586)72-4708  
FAX(0586)72-6548

編集発行人  
高橋 一

明るく楽しい  
一宮競輪  
12月  
13火  
14水  
早朝発売午前7:30~10  
尾張一宮駅より無料バス運行

# 大日比野神社で 「天王まつり」

一宮市浅井町大日比



野の大日比野神社で、八月二日に「天王まつり」が開催される。境内には津島から勧請した天王あり、内々の神事などまつっていた同社の典を、三年前から地や地元の大日比野も会に声をかけ、田に出に残り夏休みの絵に書けるようなソフト性を添えたまにスケールアップした。

境内には大提灯あり付け、子ども会や子どもたちが絵をいた行灯も点灯した。総代や役員で水やみたらし、風がりの蔵店も「店理

